

福島第一原子力発電所 個人線量情報のデータ置き換わり不適合発生に伴う対応について

< 参 考 資 料 >
2 0 2 1 年 6 月 2 2 日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

<概要>

- 2020年9月～11月の個人線量（当社社員他）について、予期せぬデータの置き換わりが発生し、実績と異なる個人線量の算定値となっていた。

<経緯>

- 本年6月に協力企業から、当社への出向者の個人線量通知表の情報について問合せを受け、確認したところ、情報に誤りがあることが判明した。

<調査結果（原因）>

- 個人線量の評価対象者を抽出するための表計算ソフトファイル（当月分）を開いた状態で、前月分の表計算ファイルを開くと、当月分と前月分のファイル間にリンク付けがないにもかかわらず、関数と引用先が同じセルの値が前月分のデータに置き換わってしまうことがわかった。

<影響範囲>

- 2020年9月～11月の3ヶ月分で置き換わりを確認した。線量情報データの置き換わりが生じた人数（個人線量通知表の修正が必要な人数）は調査中。

影響の例）・入域実績がないのに入域ありとして、線量実績が発生
・入域実績があるのに入域なしとして、APD合算値を表示

<今後の対応、再発防止策>

- 今後、データを正しい値に修正し、個人線量通知表の差替えを行うとともに、関係機関への報告書を修正する。
- 再発（置き換え）防止として、当月分の抽出を行ったら、セル上のデータ（関数での計算値）をコピーし「値として貼り付け」したうえで保存する。詳細な対策については検討中。